

介護老人保健施設

老健ホームいしかわ

# きらめき



入所者様の作品

元日の地震は能登に帰省して新年の家族団欒を迎えようとした時に起きた。年初めからその甚大な被害が報道される度に心が痛む。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。当法人の能登町鳳寿荘を含めて多くの介護施設が被害をうけ、当施設でも被災された高齢者を緊急避難で受け入れている。

令和6年能登半島地震と名づけられたが、1995年阪神・淡路大震災の火災と、2011年東日本大震災の津波を併せたような大震災である。震はふるう・おどろくことであり、災は水と火とに従う字である（白川静／字統）。政府は全国地震動予測地図を公表したり、気象庁でもスパコンを用いた集中豪雨の予測を行っているが、それでも地震や河川の氾濫はたびたび起きている。残念ながら、地震や洪水の自然災害がいつ起きるかは予測できないのが現状である。三方・水月湖の年縞の研究では、大洪水や地震の痕跡がみられ、約3000年に一度の大地震があった可能性があるという。歴史をたどれば、紀元前5300年頃の地層から旧約聖書の大洪水が推定され、中国夏王朝の始祖である禹は中原の治水に成功して洪水神となった。私は瀬戸内海の周防大島で生まれ育ち、岩国高校進学や大学勤務で少しずつ北上して金沢にたどりついた。能登の内海に重なる島影は、私の原風景に似てとても懐かしい。能登には縄文真脇遺跡や独特の風習・伝統が残り、各地にキリコ祭りがある。あのキリコ祭りの特有の梯立は、天にいる神の出遊を願い、災厄からのがれ、豊作と豊漁を願うものである。昔から自然の天候や災厄のことは神に祈り、平穏な暮らしを願うほかない。一日も早く多くの人々が避難生活から解放されて日常を取り戻し、夏にはキリコ祭りができるまで復興することを願わずにはいられない。

施設長 吉本 谷博



# 老健のリハビリをご紹介します

老健ホームいしかわでは一人ひとりのかたに合わせたリハビリプログラムで作成しております。  
これからの生活を豊かにするため、「出来るようになりたい」ことを実現するため、  
どうすれば良いか共に考え、達成するためのお手伝いを心がけています。





# 老健ホームいしかわ 歳時記

新型コロナウイルス流行以降、感染予防に努めながらも入所者様に楽しんでいただける企画を開催しております。四季を感じられるきっかけを提供していきたいと思っております。

## 園芸

作物の収穫やプランターの水やりを手際よくされていました。



## 梅の収穫

収穫のお手伝いをさせていただきました。ケーキやジュース、ジャムにして食しました。



## 広岡こども園交流会

オンラインで初めて試みました。  
園児からプレゼントをいただきました。



## 大場潟乃太鼓演奏会

迫力ある太鼓の響きに圧倒されました。



## お花見

見事に咲いた桜を鑑賞し、春の訪れを実感しました。

